

キャラクター名 ビスタ・カタラクト プレイヤー名

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	神官	性別	女	年齢	19
冒険者Lv	8	経歴	家門は男爵だが、力は弱い		
経験点	70		平民を支配するのは苦手 平民に恋をしたことがある		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能		Lv.	技能	Lv.
技	5	器用度	7			12	2	プリースト/制裁の双子女神	8			
		敏捷度	8			13	2	レンジャー	5			
体	6	筋力	9	5		20 + 2	3	エンハンサー	1			
		生命力	11	7		24	4	アーティザン	4			
心	10	知力	8	12		30 + 1	5	アリストクラシー	7			
		精神力	11	7		28	4					

戦闘特技		治癒適性	2122 p			p
		魔法拡大/数	1B39 p			p
		防具習熟A/金属鎧	1B31 p			p
		防具習熟S/金属鎧	1B32 p			p
		MP軽減/プリースト	1B33 p			p
			p			p
			p			p
			p			p
			p			p
			p			p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ビートルスキン	
防護点増強/+1	
HP増強/+5	
魔法ダメージ軽減/-1	
生死判定増強/+2	
防御陣形	
囁く気配 I	
意思持たぬ兵隊	
秘めたる博識 I	
攻撃陣形	
部下の情報収集	
高額支給	
魚鱗の陣	

技能	基本レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	フルメタルアーマー		17	-1	9
盾	エンハンスウォール		20		2
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					3
回避技能				合計値	-1 15

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ナイフ	1H投	1		2d+ 0	10	0	1										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	13 m	39 m	2d+ -1	15	48

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/X	2d+ 0	2d+ 12	2d+ 12	52

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	8	13			

装備品	説明
頭 怪力の魔紋	
耳 石人の耳飾り	防護点+1 敏捷度-6
顔 知性の魔紋	
首 アーティザンネックレス	
背中 アーティザンマントI	
右手 アーティザンリングI	
腰 多機能再生のベルト	物理ダメージを即座に1点回復する
足 運足のブーツ	通常移動を行った後、5m移動する。
その他 知性の魔紋	

装備品	説明
左手 知性の魔紋	
聖印	

その他メモ	自動失敗チェック
『制裁の双子女神』を信仰するとある男爵家の一人娘。神への信仰心を細々と受け継いできた旧家ではあるものの、信仰心の薄い現代(魔法文明)においては射陽傾向にある弱小貴族。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤
類稀なる『貴族の支配力』の才を持ち、将来を期待されていたが、本人は幼いころ、才能が開花する以前に遊んでいた一人の青年に恋をした。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑩
しかしその青年は戦争によって帰らぬ人となってしまう、吹っ切った今でも彼の事を心の奥底で覚えている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑮
それ故に平民を支配する事が苦手で、貴族と平民の隔たりを疑問視している変人貴族。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑳
彼女が今『制裁の双子女神』を信仰するのは、貴族に支配されて亡くなっていった遺族の気持ちに報いる為であるとされており、代行者の任を担っている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉑
彼女自身は感情が希薄で、一歩引いた言動が多い。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉒
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉓

